



TITLE:

名士の死の心理に関する統計的研究

AUTHOR(S):

岡崎, 文規

CITATION:

岡崎, 文規. 名士の死の心理に関する統計的研究. 経済論叢 1923, 17(6): 893-896

ISSUE DATE:

1923-12-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/128094>

RIGHT:

會學濟經學大國帝都京 叢論濟經

號六第 卷七十第

行發日一月二十年二十正大

論叢

土地課稅新案……………法學博士 神戸 正雄

價値の量……………法學士 恒藤 恭

世界經濟の意義……………法學士 作田 莊一

鎌倉時代の土地制度……………文學博士 三浦 周行

時論

農民土地愛着心冷却の傾向……………法學博士 河田 嗣郎

震災と租稅……………法學博士 小川 郷太郎

說苑

マルサスの地代論に就て……………經濟學士 谷口 吉彦

雜錄

アダム・スミスの書簡一通……………法學博士 河上 肇

「資本と勞働」と「勞働と資本」……………法學士 山口 正太郎

リカアド經濟論文集の刊行……………經濟學士 谷口 吉彦

名士の死の心理に關する統計的研究……………經濟學士 岡崎 文規

附錄

本誌第十七卷總目錄……………

名士の死の心理に關する統計的研究

岡崎 文規

最近の Metron (1923 No.4) に A. Mac Donald が Death Psychology of Historical Personages と題して、名士の死の心理に關する統計的研究を發表してゐる。私は曾つて河上博士の紹介せられた「著名の婦人に關する統計的研究」(經濟論叢第一卷第一號參照)を興味深く讀んだ事があるが、丁度それと同様な感興を覺えるので、概要を摘録するのである。

名士の死の心理とは、彼等の最後の言葉が表現する所のものを言ふのである。「死の瞬間に於ける言葉」なる意味を一層よく理解して置く事が極めて肝要であると信ずるので、死そのものに就いて二三言ひ添へて置かねばならない。こゝに死と言ふのは、死が急激に或は突然に來る場合——即ち謂ふ所の頓死ではなくして、それが一定の経過を辿る所のものでなければなら

- 17) Influence of a low price of corn on the profits of stock. (1815)
On Protection to Agriculture. (1822)
- 18) Bonar, Ricardo's ingot plan (The Economic Journal, September 1923, p. 281)
- 19) Marshall, Money credit and Commerce 1923 p. 41.
- 20) Bonar, *ibid.*, p. 281.
- 21) *ibid.*, p. 281
- 22) Marshall, *ibid.*, p. 41. note.

ないのである。死の働きは死の働きに先立つて起る所の疾病の諸徴候と混同される事が往々あるが、死は疾病の諸徴候が全く消失した後に初めて、始まるものである。そこには自然的休止がある。疾病が勝利を得、戦が果て、全てが平穩に歸する時なのである、斯くの如き經過階梯は、人によつて時間の長さを異にするのであるが、多少とも必らず存在するものなのである。ただ多くの場合、これが明白に識別し得ないで終るので、自然的死が腦髓の死であるかの様に見えるのである。肉體的の死には、腦髓によるもの、心臓によるもの及び肺臓によるものの三種があるが、心理的の死にも同様に三つの種類がある。第一は精神が少しも錯亂を來たさない所のものであつて、知覺が最後まで明である計りではなく、反つて非常に鋭敏になるもの、換言すれば肉體的疲勞が、精神的活動を盛ならしむるものである。第二は後發的に腦髓を冒す疾病に起因するもので、精神が半朦朧となるものである。第三は腦髓を冒す一切の疾病に起因するもので、一般に判斷力を欠き、自覺を全く消失するものである。

そこで彼は著名な歴史的人物の最後の言葉を、信頼するに足ると思はれるもののみを蒐集

して八九四件を得たのである。これ等は何れも可なり間違ひのないものを蒐集したものとは思はれるけれども、科學的研究に役立てる目的で記述されてあつたものではないから、どれ程までが精確であるかは必らずしも保證する事の出來ないのは言ふ迄もない。然し乍ら、非常に長い年代に亘つて、各種雑多な材料から蒐集したものであるから、統計表に示されたる數字は極めて平準性に富んだものであると思はれる。斯くの如くにして求め得た均一性は、死のより均一的、より一様なものを示してゐるに違ひない。斯くして、死に面した名士の最後の言行は、取りも直さず、彼の精神的態度と道德的品性とを明らかにし、且つ在りのまゝに反證してゐるものになるのである。

彼は彼の取扱つた名士達を其の職業に應じて、左表第一欄に見る如く、十種類に分類したのである。哲學者の中には數學者及び教育家を包含させてゐる。婦人は分類するほど人員が多くないので、暫く全てを一群にしたのである。第二欄は其の觀察數、第三欄は其の平均年齢である。それから死の形態、苦惱の有無、死前の最後の言葉及び言葉の平均數は何れも左表に示す通りである。

職 業	觀 衆	平 均 年 齡	死 形 態			死 前 最 後 的 言 葉			言 葉 平 均 數		
			自 殺	暗 殺	病 死	苦 惱 な き も の	苦 惱 あ る も の	宗 教 的	諷 刺 滑 稽	願 望 訓 戒	無 頓 着
宗教家	123	57	0	0	4	11	11	6	10	12	12
主權者	21	50	1	1	1	11	11	11	11	11	11
軍 人	11	21	1	1	1	1	1	1	1	1	1
哲學者	101	67	0	0	1	6	6	11	11	11	11
文學者	107	57	1	1	1	9	9	11	11	11	11
科學者	57	57	0	0	0	1	1	1	1	1	1
美術家	11	57	0	0	0	1	1	1	1	1	1
詩 人	11	57	1	1	1	1	1	1	1	1	1
政治家	11	57	1	1	1	1	1	1	1	1	1
婦 人	57	57	0	0	0	1	1	1	1	1	1
平 均 計	80	57	1	1	1	1	1	1	1	1	1
比 率	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

名士の平均年齢に就いて見れば、名士となるものは少なくとも五十歳まで生き長らへるものでなければならぬ。主權者と軍人は流石に其の平均年齢が比較的に低い。それは宗教家などに較べると、暴虐者の刃に仆れたり、戦場の露と消える者が多數を占めてゐることが一つの原因をなしてゐるのである。天命を全うしながら、しかも最も天折の者は詩人と美術家に其の例を見る事が出来る。Keats 二十六歳、Byron の三十六歳、Burns の三十七歳、Poe の三十八歳、及び Addison の四十七歳の如き之である。死の前に於ける苦惱の有無に關しては、八百九十四伴の中たゞ八十件のみが知られてゐるが、それ丈の範圍に於て、また斯くの如き結果から見て、死前に於ける苦惱の問題は決して重要なものではないと考へられる。死前の精神状態は其の最後の言葉によつて表現されるのであるが、其の一七%を占めてゐる諷刺、滑稽は高度の精神統制状態を語つてゐるものであらう。希望を述べ、訓戒を試みるものは軍人に其の例

が比較的多い。感嘆の叫びを發し、疑問の言葉を殘して逝く者は哲學者に其の例が多い。一般的に多いのは最後に願望を托する言葉(三一%)である。次に四六%に對して一九%の割合に於て示されてゐる如く、満足して死に就く者は不滿の言葉を訴へる者の二倍以上である。これは六五%に對して三五%の割合を示してゐる所の死前に於ける苦惱の有る者と無き者との割合に丁度一致してゐる。婦人や政治家は餘り諷刺や滑稽を言はないが、それを言ふ者は他の者に較べて、非常に長い言葉を述べるのである。それで諷刺や滑稽を言ふ婦人及び政治家の平均言葉數は人一倍多いのである。婦人は自己の願望を傳へる爲めに、平均六十三語を發するのであつて、願望を述べる者の中では一番長く、主權者の二十三語に比較すれば實に約三倍である。概して無口なのは科學者と美術家である。